

CRF250R CRF450R | はじめに

モトクロスレースでは、2000年の車両レギュレーションの改定によって、4ストロークエンジンが主流になっています。Hondaは、4ストロークモトクロスマシンとして2001年にCRF450Rを新発売。2003年にCRF250Rの発売を開始しました。以降、先進技術のPGM-FI[※]を2008年にCRF450Rに、2009年にCRF250Rにそれぞれ採用し、総合性能の向上を図ってまいりました。CRF250R、CRF450Rは、世界各地で開催されるモトクロスレースで常に頂点を極めるために、世界選手権やスーパークロス選手権、全日本選手権などの、頂点レースで培ってきたノウハウをフィードバックしています。

今シーズンは、FIMモトクロス世界選手権シリーズのMX1クラスにHonda World Motocross Teamから、イブジェニー・バブリシェフ選手とレイ・ゴンカルベス選手がCRF450Rで参戦。第9戦ドイツグランプリにおいて、E.バブリシェフ選手がレース1/2ともに優勝しました。7月31日第11戦リンブルクグランプリ終了時点のランキングは、E.バブリシェフ選手が4位、R.ゴンカルベス選手が6位の好位置につけています。

AMAスーパークロス選手権では、CRF450Rを駆るチャド・リード選手が接戦の末シリーズランキング2位を獲得しました。また、250ccクラスで競う同選手権のライツクラス・イーストでは、CRF250Rを駆るジャスティン・バルシア選手がシリーズランキング1位、同ウエストでもエリ・トマック選手がシリーズランキング2位の好成績を獲得するなど、CRFシリーズのポテンシャルの高さを実証しました。

MFJ全日本モトクロス選手権では、今シーズンからIA1クラスにTEAM HRCより、増田一将選手と平田優選手がCRF450Rで参戦。7月17日の第4戦終了時点のランキングは、平田選手が6位、増田選手が9位につけており、後半戦での巻き返しに期待がかかります。

Honda World Motocross Team

■イブジェニー・バブリシェフ選手



TEAM HRC

■平田優選手



2012年モデルは、さらに総合性能の向上を実現するために、CRF250Rはエンジンと車体各部の進化と熟成を図りました。CRF450Rは足回りを中心に変更を施しています。Hondaは今回のモデルチェンジによって、トップを目指す世界各地のユーザーの期待に応えてまいります。

※PGM-FI (Programmed Fuel Injection System) はHondaの登録商標です